

建設産業の魅力って?



INTERVIEW1

マネジメントの面白さ



「生まれ育った地域に貢献できる仕事をしたい」と考え、入社しました。現在の業務は、道路改良や災害復旧工事などの土木工事の施工管理です。構造物ができあがっていくプロセスをマネジメントするところに、この仕事の魅力や面白さが詰まっています。天候に左右される仕事のためスケジュール管理は難しいですが、さらに経験を積んで工程や安全面で余裕のある現場づくりができる、先の見通せる技術者になれるように頑張りたいです。

永野建設株式会社 横尾さん(2016年入社)

INTERVIEW6

地元に貢献



「県立産業技術専門校の在学中に、弊社のインターンシップに参加したことが入社のきっかけです。私は高鍋高校OBのため、地元高鍋の企業で働き地域貢献したいという思いも重なりました。業務では、一緒に働く多くの職人さんと良好な関係を築き、現場をスムーズに進めることを意識しています。工事の終盤で足場を解体し建物の全景が見えるときは毎回感動します。夢は、1級建築施工管理技士の資格取得。いつか、自分の家は自分で管理して建てたいです。

株式会社増田工務店 鍋倉さん(2018年入社)

INTERVIEW2

みんなで作り出す魅力



建設業の魅力の一つは、みんなで一つのモノを作り出すことだと思います。屋外の仕事がほとんどのため、雨や風など自然の力にはかなわないなど痛感し苦労するときもありますが、手掛けてきたモノが完成したときの達成感は格別です。子供のころからブルドーザー等の重機が大好きで、大人になつたら操縦したいと思っていました。その夢も実現し、毎日が充実しています。いつかは、みんなに喜ばれる大きな建造物を作り上げたいですね。

株式会社九建 T.S.さん(2015年入社)

INTERVIEW7

図面を形にするおもしろさ



幼い頃から建設業に興味がありました。実際にこの仕事に就いて感じるのは、図面を理解し測量等を行って道路や構造物を作っていくことは、やはり面白いということ。もちろん大変な面もあり、特に現場の状況や今後の天気を把握しながら仕事の段取りを決めていくことには苦労します。しかし、そういう点も含めて建設業の魅力だと考え、前向きに仕事に臨めています。今後も多くの現場や工種を経験し、自分の力にしていきたいです。

株式会社山崎産業 草野さん(2016年入社)

INTERVIEW3

苦労とやりがいが表裏一体



屋外の仕事は予想を超えた出来事が次々に起こります。それに対応しながら工期内の完成を目指していくことは大変ですが、自社や協力会社の方たちと力を合わせて造ったモノが出来上がった時は、すべて報われた気分になります。苦労とやりがいが表裏一体の関係にあるような職業です。また、自分が造ったモノが何年も存在するという点も魅力的です。信頼される技術者に成長し、何年も残るような構造物づくりに携わっていきたいですね。

株式会社藤元建設 左近さん(2014年入社)

INTERVIEW8

自分の技術で光を灯す



学生時代に学んだ専門知識を、社会のため、地域のために活かしたいと思いました。現在は第二種電気工事士として照明器具の取り付けや配線作業などを担当しています。やりがいは、自分が取り付けた照明が予定通りに明るく光ったとき。危険を伴う上に、一つの配線のミスで動作しなくなるので、常に緊張感を持って仕事に臨んでいます。今後は、第一種電気工事士の資格取得などにチャレンジし、もっと自分のスキルを磨いていきたいです。

株式会社島電工 S.T.さん(2021年入社)

INTERVIEW4

人の役に立てる喜び



自自分が携わった構造物が利用されているのを見ると、人の役に立てたとうれしくなるのが、この仕事の醍醐味ではないでしょうか。一方、建設業と一概に言っても、構造物をつくるだけが仕事ではありません。私は橋梁の点検・調査・設計を担当しており、業務上、プレゼンテーションを行う機会もあります。うまく伝えるために豊富な知識を身に着けなければならぬ点は大変ですが、あらゆる要望に上手に対応できる技術者になるために努力しています。

株式会社共同技術コンサルタント 山下さん(2015年入社)

INTERVIEW9

困難を乗り越える



施工責任者という重要なポストに就いています。苦労する点は、いろいろな意見を持った地域住民や関係者との協議。どのように意見を伝えればよいか、どのように結論を出せばよいかと悩みます。しかしそういった困難を乗り越え、自分で立てた計画通りに現場が仕上がったときは責任者冥利に尽きます。休日には温泉浴やDIYを楽しむなどリフレッシュも大事にしています。他人の意見をしっかりと受け止め、仕事に活かせる柔軟な人を目指したいです。

株式会社吉行産業 大浦さん(2017年入社)

INTERVIEW5

達成感



建築物を完成させていく上で、大小にかかわらず何かしらのアクシデントが必ず発生します。そのようなときに関係業者の方々と協力し、共に乗り越え、発注者の方や地元の方々に喜んでもらえるような物を完成させたときの達成感は最高です。今は建築工事の施工管理全般を任されており、豊富な知識が必要なことはもちろん、時間の使い方に苦悩するときもありますが、若手の見本となるような技術者になれるよう頑張りたいです。

株式会社内山建設 富重さん(2015年入社)

INTERVIEW10

刺激的な毎日



建築工事や解体工事の現場で施工管理をしています。以前は異業種の仕事をしていましたが、大学時代は土木を専攻していたため、「知識が生かせるのではないか」と一念発起してこの業界に転職しました。さまざまな業者の方とお話ができ、刺激を受ける毎日ですが、当然、知識や経験が乏しく、分からないことばかり。周囲に助けられて業務を遂行しています。一緒に働くみんながスムーズかつ作業しやすい環境を整えられるように成長ていきたいです。

株式会社上村開発 日高さん(2020年入社)